

デマンド交通シンポジウム

「高齢者等がマイカーに替えて利用できる自由度・利便性の高い移動手段を考える」
～高齢者等のウェルビーイングを実現するための移動手段となり得る『AIデマンド交通』～

■日時：2023年6月7日（水）13:30～17:00（開場:13:00）

■会場：ベルサール御成門駅前
およびオンライン配信（Zoomウェビナー）

ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一般財団法人 運輸総合研究所の業務につきましては、平素からの格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「デマンド交通シンポジウム」を開催することと致しましたので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご臨席いただきたくご案内申し上げます。

敬具

2023年5月吉日

一般財団法人 運輸総合研究所 会長 宿利 正史

趣旨

高齢者等の移動を取り巻く状況については、現状、十分な状況とは言えません。マイカーの利用には事故のリスクを伴いますが、移動が不便になることを考えるとマイカーを手放せず、また、マイカーが利用できない場合には、都市部など利便性の高い地域でなければ移動手段の確保が困難です。

上記問題意識の下、高齢者等の移動手段のあるべき姿の検討のため、2021年11月に「高齢者等の移動手段確保方策検討委員会」を設けました。同検討委員会において、マイカー運転による事故を減少するため、マイカーを運転している高齢者等の「マイカー所有からサービス利用への転換」を掲げ、その方策として、マイカー運転の自由度・利便性に近い移動手段になり得るものとして「AIシステムを用いたデマンド乗合運行」を想定し、そのあり方を検討したところです。

本シンポジウムでは、AIデマンド交通に関連する知見を有する有識者や事業者の方々にお集まりいただき、AIデマンド交通がマイカー運転の自由度・利便性に近い移動手段として機能を発揮するにあたっての今後の展望等について、議論を深めることとしています。

各交通分野の関係者、高齢者等の移動手段確保に課題を有している自治体の方々等、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、幅広くご参加をいただけますと幸いです。

お申込み

下記のURLよりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/symposium230607>

（申込期限：6月5日（月）まで）

※お申し込みを頂いた方には、後日視聴用URL及び資料をご送付いたします。

お問い合わせ：

一般財団法人 運輸総合研究所（担当：島本、稲本）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401

E-mail：collo@jttri.or.jp HP：https://www.jttri.or.jp/



デマンド交通シンポジウム

「高齢者等がマイカーに替えて利用できる自由度・利便性の高い移動手段を考える」
 ～高齢者等のウェルビーイングを実現するための移動手段となり得る『AIデマンド交通』～

プログラム

○主 催：一般財団法人 運輸総合研究所

○日 時：2023年6月7日（水）13:30～17:00（開場:13:00）

○会 場：ベルサール御成門駅前 および オンライン配信（Zoomウェビナー）

※講師の許可が取れ次第、収録映像を公開する予定です。

○参加費：無料

○その他：会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

注) プログラムは変更になる可能性があります。

【開会挨拶】	13:30-13:35	宿利 正史	一般財団法人運輸総合研究所 会長
【基調講演】	13:35-13:55	鶴田 浩久	国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官
	13:55-14:10	鎌田 実	東京大学名誉教授、 一般財団法人日本自動車研究所・代表理事 研究所長
【提言報告】	14:10-14:25	春名 史久	運輸総合研究所 主任研究員
【休憩】	14:25-14:35		
【パネルディスカッション及び質疑応答】	14:35-16:55		
		コーディネーター 鎌田 実	東京大学名誉教授、 一般財団法人日本自動車研究所・代表理事 研究所長
		パネリスト 鶴田 浩久	国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官
		木多 央信	岡山県久米南町 税務住民課 主任
		藤岡 健裕	ネクスト・モビリティ株式会社 代表取締役 副社長 兼 CSO
		山口松之進	郡山観光交通株式会社 代表取締役
		河崎 民子	(特非) 全国移動サービスネットワーク 副理事長
		森 雅志	前 富山市長、富山大学 客員教授
		吉田 樹	福島大学経済経営学類 准教授、 前橋工科大学学術研究院 特任准教授
【閉会挨拶】	16:55-17:00	佐藤 善信	一般財団法人運輸総合研究所 理事長

会場

ベルサール御成門駅前

「御成門駅」A4出口徒歩1分(三田線)
 「大門駅」A6出口徒歩9分(大江戸線・浅草線)
 「浜松町駅」北口徒歩13分(JR線)
 「モノレール浜松町駅」北口徒歩13分(東京モノレール)

※近隣には「ベルサール御成門タワー」がございます。
 お間違えのないようお気を付けください。

〒105-0004
 東京都港区新橋6-17-21 住友不動産御成門駅前ビル1F

https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinagawa/bs_onarimonekimae/access/



基調講演者のご紹介



鶴田 浩久 国土交通省 大臣官房 公共交通・物流政策審議員

<略歴>

1990年東京大学法学部卒業、1999年ロンドン大学LSE大学院修士課程修了。
1990年運輸省入省後、大臣官房、近畿運輸局、鉄道局、運輸政策局、国土交通省航空局、鉄道局、外務省OECD日本政府代表部、国土交通省大臣官房、観光庁、航空局、自動車局、東京航空局長、内閣官房内閣審議員、国土交通省航空局航空ネットワーク部長、鉄道局次長などを経て、2022年より現職。

この間、汐留の不動産証券化、阪神・淡路大震災の現場対応、旧国鉄債務の最終処理、海外留学の後、交通バリアフリーの法制化、首都圏空港の機能強化、都市鉄道の接続新線整備、海外勤務の後、人事・大臣秘書官、インフラ海外展開ファンド「JOIN」の創設、貸切バスの安全法制強化、再び首都圏空港の機能強化、バリアフリー法の拡充、コロナ禍のエアライン・空港会社支援、新幹線の整備、地域公共交通のリ・デザイン等に携わる。



鎌田 実 東京大学名誉教授、一般財団法人日本自動車研究所・代表理事 研究所長

<略歴>

1987年 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了、同年 (財)日本海事協会 技術研究所 研究員

1990年 東京大学工学部 講師、1991年 同 助教授

2002年 東京大学大学院工学系研究科 教授

2009年 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・教授

2013年 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

2020年 現職

専門は車両工学、人間工学、ジェロントロジー。

国土交通省交通政策審議会委員、経済産業省自動走行ビジネス検討会座長、警察庁高齢運転者事故対策有識者会議委員、環境省中央環境審議会専門委員など、自動車技術会副会長、日本機械学会交通物流部門長などを務めてきた。

2015年 交通文化賞受賞

2021年 自動車技術会論文賞

2022年 日本機械学会論文賞受賞

パネリストのご紹介



木多 央信 岡山県久米南町 税務住民課 主任

<略歴>

2008年 愛媛大学法文学部卒業

2008年 株式会社バルコムモータース入社

2011年 久米南町入庁

2012年から総務企画課に配属され、2013年より公共交通を担当し、地域公共交通網形成計画の策定、デマンド交通の整備後、2020年からAI予約配車システムの導入と併せてデマンド交通の運行形態を大幅に見直し、宅配サービスなどを実施。

2022年より現職



藤岡 健裕 ネクスト・モビリティ株式会社 代表取締役 副社長 兼 CSO

<略歴>

一橋大学社会学部卒業後、総合電機メーカー、IT系ベンチャー、戦略系コンサルファームを経て、2005年より三菱商事在籍、現在に至る。

三菱商事では、全社の調査部門や経営企画部門において、事業環境評価や中期経営計画策定、各事業部門の戦略構築/評価、新規事業開発などに従事。

モビリティ分野関連では、2012年～16年のインド駐在時にアフター・サービス分野における事業開発に従事した他、2017年からは自動車事業部門におけるモビリティ・サービス分野での事業開発を推進し、2019年2月に西日本鉄道との合併でネクスト・モビリティ社を設立（三菱商事より出向、代表就任）、福岡県にてAI活用型オンデマンドバス（ODB）の商業運行を始め、翌20年からは全国の自治体や交通事業者に対するODBソリューションや交通計画コンサルティング・サービスの提供、MaaS等周辺領域のサービス開発を推進中。



山口松之進 郡山観光交通株式会社 代表取締役

<略歴>

1992年 早稲田大学第一文学部卒業

1992年 相互住宅（株）入社

1997年 山口タクシーグループ入社、専務取締役に就任

2006年 （株）孫の手を設立

2015年 代表取締役に就任

2016年 フードカートを導入しアウトドアレストラン事業開始

2018年 「旬のハヅカシ」BestTable」開店

2018年 国土交通省「定額タクシー運賃」実証実験

2019年 TMF「地域に合った移動の仕組み作り」活動資金助成「超高齢化社会における郡山版MaaSモデル創出プロジェクト」(三年間)～定額乗り放題タクシー「ヤマグチ君」実証実験(2020年9月～2022年3月)

2021年 福島県内初の水素燃料電池自動車タクシーの運行開始

2022年 定額乗り放題タクシー事業化

2023年 3月水素燃料(FC)キッチンカー導入

【受賞】

2018年 「新しい東北」産業復興事例 復興大臣顕彰受賞

2019年 第7回グッドライフアワード環境大臣賞優秀賞受賞

パネリストのご紹介



河崎 民子 (特非) 全国移動サービスネットワーク 副理事長

<略歴>

1970年 九州大学文学部(仏文学)卒業
 1970~72年 財団法人 日本ILO協会勤務
 1999年 外出介助サービス「ケアびーくる」設立。ケアびーくるは2003年構造改革特区で登録を取得
 2005年~ 全国移動サービスネットワーク副理事長
 2008年 国土交通省「自家用有償旅客運送フォローアップ検討会」委員
 2007~15年 大和市議会議員
 2017年 国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 2021年 運輸総合研究所「高齢者等の移動手段確保方策検討会」委員
 2023年 国土交通省「ラストワンマイル・モビリティ/自動車DX・GXに関する検討会」委員



森 雅志 前 富山市長、富山大学 客員教授

<略歴>

富山大学客員教授・非常勤講師、京都大学非常勤講師
 1952年 富山市生まれ。
 1976年 中央大学法学部卒業。
 1995年 富山県議会議員当選
 2002年 旧富山市長に就任
 2005年 市町村合併に伴い新富山市長に就任、4期務め2021年任期満了退任。
 人口減少時代を見据え「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」ビジョンを策定し、LRTネットワークを中心とした街づくりを進める。その間、富山市は「環境モデル都市」「環境未来都市」「SDGs未来都市」第一号認定を受け、国際的にはOECDより世界のコンパクトシティ5都市に選出。国連のエネルギー効率改善都市、ロックフェラー財団100のレジリエント都市、世界銀行のパートナー都市などに選定される。
 個人として国土交通大臣交通文化賞受賞。日本建築学会文化賞受賞。OECDチャンピオンメイヤーズに選任。



吉田 樹 福島大学経済経営学類 准教授、前橋工科大学学術研究院 特任准教授

<略歴>

岐阜大学地域科学部卒，東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。博士（都市科学）。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント，同助教，福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任准教授を経て，2013年4月より経済経営学類准教授。2023年4月よりクロスアポイントメントで前橋工科大学に着任。
 専門は，地域交通政策。全国各地の公共交通政策に携わり、「現場での実践」に基づく理論構築に努める。
 主な著書に『生活支援の地域公共交通』（学芸出版社：第35回交通図書賞（第一部：経済・経営部門））。第39回交通工学研究発表会研究奨励賞（2019年）。交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員。アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会（国土交通省）委員。